

全国の浜から

第7回

里海への取り組みについて

今回は、漁業者さん自らの里海への取り組みをご紹介します。



長崎県での事例

漁港内に設置して藻場対策と幼稚子魚の保護により漁港のナーサリ機能の強化を図られています。



山口県での事例

種苗放流の受け皿として設置されました。キジハタ種苗を放流すると、すぐに内部へ潜り込んでいきました。

今までの取り組みでは、200～500kg程度の小型のシェルナーズが採用されてきており、小型ながらもしっかりとした成果が出ています！



新潟県での事例



広島県での事例

種苗放流魚の保護への取り組み。

漁港内でナマコを増やす取り組み。



富山県での事例

藻場対策への取り組み。